

# 札幌市の魅力を旅行者にPRしよう

中学2年生 社会科（地理的分野）

## I 実践の目指しているもの

本時では、「札幌市の魅力を外国人旅行者にPRしよう」という課題を設定し、札幌市の魅力を再発見させたいと考える。札幌市は都市と自然の調和がとれ、市町村魅力度ランキングで函館市に続き、全国2番目にランクインしている（「ブランド総合研究所 地域ブランド調査 2015」より）。

また、札幌市を訪れる観光客は1300万人、外国人観光客も140万人を超え札幌市の魅力が世界に発信されていることが分かる。しかしながら、生徒は札幌で生まれ育った子どもが多く、本州の人には魅力的な観光資源である「雪」や「食」を日頃から実感しており、当たり前のこととして捉えている。そこで、今回の授業では、「もし他地域の旅行者に1日かけて札幌を案内するとしたら、どこを紹介するか？」をテーマに学習を行い、改めて札幌の魅力を再考させ、札幌市民として「ふるさと札幌」に誇りをもたせたい。

## II 研究の内容

### 1 題材名（単元名）

日本の諸地域「北海道地方～自然環境を中心とした考察」

### 2 題材の目標（単元の目標）

北海道の自然環境や気候を通して、農業や水産業、観光業における北海道独自の取組や工夫、課題について考察させる。

## III 題材の指導計画（5時間扱い）

課題	目標
1 ■北海道の自然や地形はどのような特徴があるのだろうか。 ■北海道開拓の歴史を知ろう。	<input type="checkbox"/> 北海道の自然環境や地形について捉える。 <input type="checkbox"/> アイヌ語に由来する地名などをみて、アイヌ民族の歴史への関わりを考察する。 <input type="checkbox"/> 江戸時代の松前藩とアイヌ民族の貿易や明治時代以降の開拓の様子について理解する。
2 ■北海道の気候を知り、その気候の中で生活する人々の様子を考えよう。	<input type="checkbox"/> 統計資料などから他地域と北海道を比較し、北海道の自然環境の特色について理解する。 <input type="checkbox"/> 冬季に気温が低下する北海道の暮らしの工夫について考える。 <input type="checkbox"/> 冷涼な北海道の自然環境を生かした、産業やエネルギー生産の取組について理解する。
3 ■恵まれた自然環境と日本の食糧基地としての取組を知ろう。	<input type="checkbox"/> 様々な統計資料をもとに北海道の農業の特徴を捉える。 <input type="checkbox"/> 米の品種改良など、冷涼な地域である北海道の農業の工夫について知る。 <input type="checkbox"/> 消費地から遠い北海道の農業の工夫について考える。
4 ■水産業の取組や水産業の今後の課題について考えよう。	<input type="checkbox"/> 水産業の全国に占める北海道の割合など北海道の漁業の現状を理解する。 <input type="checkbox"/> 水産業の課題について理解する。
5 ■札幌市の観光から北海道の観光をながめてみよう。（本時）	<input type="checkbox"/> 札幌は北海道観光の中心であり、北海道観光の魅力が詰まった都市であることに気付く。 <input type="checkbox"/> 札幌市の観光について多面的な視点（自然、歴史、食など）で考察し、北海道の観光業に関心をもつ。

#### IV 本時について

(1) 本時の目標 札幌市は北海道らしさが詰まった魅力的な都市であることに気付く。

(2) 本時の展開 (5/5)

	○生徒の活動	●教師の活動 ◆備考
課題の把握 (10分)	<p style="text-align: center;">現在の北海道観光について捉える</p> <p>○北海道が全国魅力度ランキング7年連続1位であることを知る。 →なぜ他地域と比べ、魅力的な地域となっているか。 &lt;予想される答え&gt; <b>豊かな自然、夏でも冷涼な気候、冬の雪、街並み、食べ物、夜景、など</b></p> <p>○市町村別 魅力度ランキングを見て、函館市が1位、札幌市が2位、小樽市が5位、富良野7位であることがわかる。 →私たちの住む街札幌市と北海道の魅力で共通するところはどんなことか? &lt;予想される答え&gt; <b>自然、歴史、街並み など</b></p> <p>○北海道に来る観光客の多くは、交通の便がよく、ホテルなどの滞在施設が多い札幌市に来るであろう。なぜだろうか? &lt;予想される答え&gt; <b>交通のアクセスのよさ、北海道の中で最大の都市である。</b></p>	<p>●全国魅力度ランキング TOP10 &lt;都道府県、市町村&gt;を説明する。(「ブランド総合研究所 地域ブランド調査2015」より)</p>
展開 (35分)	<p>○札幌を訪れることで、北海道の魅力を味わうことができるだろうか?</p> <p style="text-align: center;">課題 一泊二日で札幌を観光し、北海道を満喫できるプランを考えよう!</p> <p>ただし、プランを考えるときには、タイトルを考え、1～3の条件を踏まえる。 &lt;条件1&gt; <b>①北海道らしい「自然」を満喫する。 (自然環境や気候を考慮する) ②北海道らしい「食」を満喫する。(農業、漁業を考慮する) ③北海道らしい「お土産」を買う。(農業、漁業を考慮する)</b></p> <p>&lt;条件2&gt; <b>季節の設定は、夏か冬のどちらか。</b></p> <p>&lt;条件3&gt; <b>案内する観光客は班ごとに異なる。 中国人、オーストラリア人、東京都の人、青森県の人、フィリピン人</b></p> <p>○ワークシートに記入。その際、それぞれの理由を簡潔に記入する。 ○班ごとに発表をする(ただし、想定した観光客は発表しない)。</p>	<p>●班ごとに話し合いをさせる。</p> <p>◆札幌の主な観光地、土産、を教師側があらかじめ用意しておく。</p> <p>●班の生徒全員が話し合いに参加するよう促す。</p> <p>◆以下の理由から5つの地域の人々を選択した。</p> <p>中国人…来札幌観光客数1位 オーストラリア…季節が逆 フィリピン…自然環境が異なる 東京都…生活環境の違い 青森県…札幌と似た環境</p>
まとめ (5分)	<p>○それぞれの班がどの地域の人々を想定したのか考える。 ↓ ○札幌市は、北海道らしさ(「特色ある自然」、「豊かな自然環境からもたらされる食」等)が集まった魅力的な都市であることを認識する。</p>	<p>●どんな地域の人々にとっても、対応できる魅力あふれる都市であることを説明する。</p>

## V 実践のポイント

### 【成 果】

□子どもは楽しみながら、授業に取り組み、観光プランを立てていた。

特に、ワークシートを使用する場面では、観光客を想定したテーマを考えていた。例えば、中国人を案内する場合には、「中国人の家族 爆買いツアー」などのように想定する外国人や旅行者の家族構成なども考慮に入れて考えていた。また、見学する観光地においては一つ一つに理由を見出し、例えば、「青森県の老夫婦には、温泉などが良いのではないか」など相手の立場になって、イメージを膨らませながら話し合い、結論を導き出していた。

□札幌市が海外の人々や他地域の人々にとって、自然や歴史、気候などの面で魅力的な地域であることに気付くことができていた。

□札幌市の観光について、多面的な視点（自然・気候・歴史）で学習することができていた。

### 【課 題】

■観光プランを発表する際に、ワークシートを基に話し合った理由を発表することで、札幌市がどの地域の人々にとっても魅力的な都市であることがより鮮明にすべきであった。

■グループで決めることを多く設定したため、広く浅い話し合いとなってしまった。話し合いの内容を焦点化することが必要であった。

■グループによる話し合いの場面では、話し合いの状況を踏まえながら、子どもの思考が深まるような発問をしたり、資料を提示したりするなど、教師の役割を明確にしておくことが大切である。

■今回の授業では、教師側から札幌市の観光地一覧やお土産一覧を提示したが、事前に札幌市の観光について下調べの時間を設定することにより、話し合いの内容がより深まったと考えられる。

■日本の諸地域における北海道地方の学習において、「ふるさと札幌」の学びの視点をどのように位置付けていくかが課題である。今回は、単元の最後に、「ふるさと札幌」の学びの視点として、「札幌市の観光」を取り上げたが、本単元のそれまでの既習事項を生かす内容となっていなかった。

■学習展開の中に、札幌市と他の市町村を比較する場面を設定できれば、札幌市の魅力をより実感させることができたと考える。

■本時は、単元最後の時間であることから、北海道の地域的特色についてまとめさせることが必要である。

